

ハピネス城西

発行／医療法人 睦み会 城西病院

発行日 平成24年10月15日

H24.10月号、No.1

〒770-0005 徳島県徳島市南矢三町3丁目11-23 Tel 088-631-0181

URL <http://www.johsei-hp.jp/> E-mail johseihp@johsei-hp.jp



医療法人 睦み会
城西病院

広報誌リニューアルにあたって

広報誌挨拶

理事長院長 井上和俊

遅ればせながら、このたび医療法人睦み会でも独自の広報誌を発信することとなりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。

当院の「理念」は、「ロマン」となっています。「ロマン」とは？「夢を求める心意気」と解釈しており、それは、「心と身体を癒し続け、人生をより豊かなものとし、今を共に語り合い支え合って生きる」です。



お釈迦様は、「人生は苦」と語られました。なら、その

あつという間の人生の、その瞬間を明るく生き抜きたいものです。ロマンは、みんな、意識を高め合いながら、共に語り合い、互いに支え合って、楽しく生き抜くことを目指しています。

ロマンの実践には、各個人の資質を高める必要があるから、睦み会ではスタッフの研修や学会出張を積極的に奨励しています。そして、臨床の実践から得られたことや各個人が学んできたことを、スタッフ同士で分かち合い、患者さんにも共有していただいています。

また、本当にいいと思ったことは、赤字覚悟で実践しています。「城西ビオスクリーニ

ック」2Fのマクロビオティック「レストランビオス」もその一つですが、それも電子カルテ導入とともに、既に5年が経ちました。

今年度からは「アウトリーチ推進事業」に取り組んでいます。この詳細には触れませんが、それは今後5年以内にベット30床以上削減もセツトになっています。これも現状だけ考えると経営上リスクは伴いますが、今入院治療はより短期かつ病床縮小の方向へ向いており、通院・在宅医療が主となることは明らかであるかと判断したから昨年度末企画に応募し、厚生省のモデル事業を委託された徳島県から当院が初めて指定されたものです。

当院の啓発・広報活動は、

広報誌以外に、毎月行っている102回目を数えた「心と身体健康教室」と、毎年行っている昨年度10回目を迎えた「公開講座」もあります。また、ホームページには、各部署からのブログ発信も随時行っています。そちらの方もよろしくお願い申し上げます。



精神障害者アウトリーチ

推進事業について

徳島県精神障害者アウトリーチ推進モデル事業

「とくしまこころとくらしのサポートセンター」

アウトリーチ事業推進室リーダー 精神保健福祉士森真弓

近年、地域移行・地域定着支援やACTをはじめとした、地域における在宅支援が進められ、昨年度からは、「精神障害者アウトリーチ推進事業」が始まりました。従来のアウトリーチ支援では、本人や家族からの了解があったり、比較的落ち着いた方、医療や福祉サービスにつながっている方などが対象であり、服薬支援や障害福祉サービス等の紹介が支援の中心となっていました。また病状悪化の場合は入院を前提としたアプローチになりがちでしたが、新しいアウトリーチ支援では、在宅での支援を原則として、その生活を包括的に支援するものとなり、今まで手の届かなかった方へも支援の手が

差し伸べられる事になります。23年度は15府県24機関、本年度は22府県33機関での実施となっており、四国では、昨年度は高知、今年からは徳島と香川が参画しました。今のところ、この事業は国のモデル事業であり、ACTのような治療契約等が交わされたものでなく、診療報酬等はありません。今後の一般制度化が待たれるところです。



当院では、従来から当事者や家族への生活支援等に力を入れており、公開講座等でもアウトリーチ支援をテーマとして取り上げてきましたが、この度、県の委託先としてこの事業を担うことになりました。対象は、精神障害またはそれを疑われる方で、受診中断者や自らの意志では受診が困難な方、長期入院のあと退院した方、入退院を繰り返す方等で、当面は主診断名が統合失調型障害および妄想性障害（F2）、気分（感情）障害（F3）、認知症による周辺症状（BPSD）が有るものとしています。本人や家族等から、また地域の保健所、市町村、相談支援事業所、介護保険事業所、障害福祉サービス事業所、医療機関等を通じて相談を受け、会議で対象者を選定した上での支援開始となりますが、チームでは、徳島保健所管轄内の基本30分ぐらいで行ける地域とし、半年程度（ある程度の延長あり）を支援期間としています。

今春ビオスクリニックにアウトリーチ推進室を設置し、専任2名（精神保健福祉士・看護師）と兼務者12名（医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士）での支援が開始したところですが、

訪問やカンファレンスを重ねることにチームは結束し、スタッフはこの事業の意義を大いに感じているところです。経験だけでなく、専門を超えた「力」が必要とされる中、日々研鑽を重ねる等の努力が求められますが、少しでも在宅支援の力になれるよう、当事者の方やご家族に学び、関係機関の方々の協力を得ながら、尽力していきたいと思えます。

訪問やカンファレンスを重ねることにチームは結束し、スタッフはこの事業の意義を大いに感じているところです。経験だけでなく、専門を超えた「力」が必要とされる中、日々研鑽を重ねる等の努力が求められますが、少しでも在宅支援の力になれるよう、当事者の方やご家族に学び、関係機関の方々の協力を得ながら、尽力していきたいと思えます。



城西ビオスクリニック

5周年を迎えて

平成24年9月、おかげさまで城西ビオスクリニックは開院5周年を迎えることができました。『ビオス』はギリシャ語の『生命』に由来し、人間が本来持っている生命力、自然治癒力、元氣を取り戻すクリニクとして、徳島市の中心部である佐古大橋のなもとに誕生しました。心が疲れたら気軽に受診していただけるように、自然素材を生かした癒しの空間作りに努めました。建物は1階から診療部門、2階がレストラン、3階がデイケア、4階が多目的ホールです。

※認知症家族講座『学び舎』では、植村院長の講演と参加者全員でフリートークを行い日頃の悩みを話し合います。第1回10月20日(土)13時30分〜14時30分 ※『ほっこり会』では、マクロビオティックの普及活動として講演と調理方法などの紹介を行います。次回10月27日(土)10月31日(水)12時〜13時15分(要予約)

院長は初代、松原正医師の後、平成23年7月から植村桂次医師が就任しています。植村院長は、「認知症サポート医」でもあり、もの忘れ外来も開始しました。レストランビオスでは、マクロビオティックの料理を提供し、常連のお客様にも恵まれるようになりました。先日のデイケア利用者給食アンケートでは、この食事のおかげで「イライラが減った」「落ち着きができた」など精神的変化を感じられているという回答が複数あり、スタッフ一同喜んでいきます。これからも料理教室や親子クッキング、『ほっこり会』を通じて食育を勧めていきたいと思っています。

多目的ホール「ビオスホール」では50名が収容でき、本院主催の『心と身体

健康教室』の開催のほか、10月からは認知症家族講座『学び舎』を始めることとなりました。関係者各位の催しに貸し出すことも可能です。

これからの全スタッフが丸となり切磋琢磨し、精神科医療の質の向上に努め、治療の場として、また街のオアシスとして、皆様に親しまれるクリニクでありたいと思います。今後とも城西ビオスクリニックをよろしくお願い申し上げます。



ARPについて

アルコール・リハビリテーション・プログラム(以下ARP)を始めて9年目、現在第34期目を実施しています。延べ2千人以上のメンバーさんが参加されており、当院は「アルコール治療に専念でき、効果が得られる病院」として県内の精神科病院の中でも高く評価されています。ARPはアルコール勉強会、卒酒会の2本柱で実施しています。

「アルコール勉強会」は、多職種のスタッフと共にアルコールの知識を学びます。「卒酒会」は当院独自の認知行動療法を実施。従来の「飲酒問題」だけに視点をあてず、依存症本来の持つ生きにくさ・生きづらさにアプローチし、自己の成長を目標としています。

卒酒会ではまず「ブレッシング・カード」を引き、そのカードの言葉とそれから連想したことを述べてもらいます。その後各ステージ(全12ステージ)に入っていきます。ステージを学んだ後に「人生とは?」「1年後の自分はどうかしたいか」等をテーマにして「マインドマップ」を

書き上げます。終了前には「目撃者瞑想」で心を静めます。最後にメンバー自身が作成したインカンテーションを、拳をつきあげながら声高らかに全員で唱和します。またステージの面白い点として、



平成24年9月27日

ステージ10.自然に従う・ハイキング

ステージ9「自然に従う」があります。自然の中で、自身の存在や生きる想いを模索してもらいます。山の中でのハイキング、時には海辺でのバーベキューを楽しむことも。

依存症は「心の病気」であり「生き方の病気」です。飲酒している自分を責めていませんか?悩んでいませんか?正直に生

きることが回復へのステップだと認識してください。さあ、私たちと一緒に新しい人生を歩みましょう。

アルコール勉強会

- 1.アルコールについて
- 2.アルコール関連問題について
- 3.アルコール依存症者の心理〜否認〜
- 4.アルコールの臓器障害
- 5.アルコールと栄養
- 6.アルコール依存症者の家族
- 7.アルコールとタバコの依存性について
- 8.アルコールと薬について
- 9.体力アップ
- 10.私のインカンテーションを作ろう!
- 11.アルコール依存症の治療と回復

卒酒会

- ステージ1.習慣を変える
- ステージ2.6ヒューマンズ
- ステージ3.ブライマリー・クエスト宇宙の法則
- ステージ4.アルコール依存症とは?
- ステージ5.あなたの問題点は?
- ステージ6.アルコールのトリック
- ステージ7.アルコールとは?
- ステージ8.依存症からの決別
- ステージ9.卒酒して何をしますか?
- ステージ10.自然に従う・ハイキング
- ステージ11.変化を知る・体力チェック
- ステージ12.卒業論文発表

城西病院 診療スケジュール

		月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:00	1 診	小谷名誉院長	勝瀬医師	井上院長	小谷副院長	井上診療部長	井上院長
	2 診	井上診療部長	小谷副院長	高野医師(内科)	勝瀬医師	井上院長	勝瀬医師
	初診	井上院長	夏堀医師	小谷副院長	勝瀬医師	小谷名誉院長	井上診療部長
13:00 ～ 16:30	入院 希望者	夏堀医師	井上院長	小谷副院長 枝川医師	井上診療部長	小谷名誉院長	
	もの忘れ 外来					植村医師	

城西ビオスクリニック 診療スケジュール

		月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:00	オレンジ	植村院長	植村院長	植村院長		植村院長	植村院長
	イエロー						
14:00 ～ 18:00	オレンジ		植村院長	植村院長			植村院長
	イエロー	井上和医師	井上秀医師			小谷医師	

城西ビオスクリニック TEL 088-611-1160

城西病院 TEL 088-631-0181



編集後記
 今回から独自の広報誌を発行することになりました。気持ちもスタッフも新たに奮闘しております。今後もしょろしくお願いします。
 編集担当者 島村、徳重、大村、嶋田、福原、富山、宮内、脇坂、天羽、山田、柳川、竹岡、水本、清水

医療法人睦み会の最も大切にするもの
ロマン(理念)
 心と身体を癒し続け
 人生をより豊かなものとし
 今を共に語り合い
 支え合って生きる

基本方針
 一 ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をこころ大切にして生きる
 二 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない
 三 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む
 四 同じロマンをもつスタッフと一丸となって、共に高め合う
 五 互いに支え合う共生社会を作り上げる